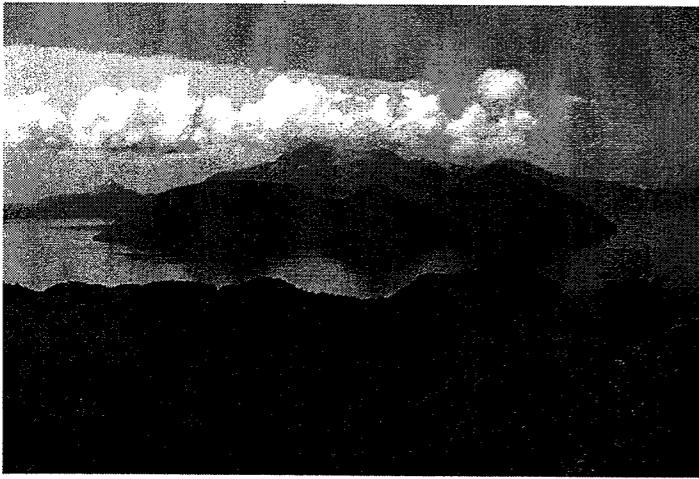


北海道医療計画西胆振地域推進方針新旧対照表

新 (H 30西胆振地域推進方針)	旧 (H 25西胆振地域推進方針)	理由
<p>北海道</p> <p>北海道医療計画 西胆振地域推進方針 <u>(平成30年度～平成35年度)</u> <u>(案)</u></p>  <p>平成30年 月</p> <p>北海道胆振総合振興局保健環境部 (北海道室蘭保健所)</p>	<p>北海道</p> <p>北海道医療計画 [改訂版] 西胆振地域推進方針</p>  <p>平成25年8月</p> <p>北海道胆振総合振興局保健環境部 (北海道室蘭保健所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「改訂版」を削除 ● 推進方針の期間を明記 ● 現時点では「案」として整理 <ul style="list-style-type: none"> ● 作成年月を記載

(省略)

方針の作成に当たって

誰もが住み慣れた地域の中で、安心して暮らし続けることができるためには、身近に必要な医療サービスを受けられる体制が整っていることが必要不可欠であり、「地域の医療提供体制の確保」は、地域社会を支える極めて重要な基盤です。

このため、道では、平成20年3月に「北海道医療計画」を策定し、地域医療の充実に努め、医療機関の機能分担と業務の連携を図るための広域化連携構想の促進や、地域医療再生計画に基づく様々な事業に取り組んできました。

しかし、計画から5年が経過し、この間に北海道では、人口減少や高齢化が急速に進むなど、地域医療を取り巻く環境が大きく変化しており、さらに、医師等の医療従事者の不足や近年患者が急増している精神疾患の対応や在宅医療の充実など、さらなる医療提供体制の整備が求められています。

このため、平成25年3月に計画の見直しを行い、住民・患者の視点に立って、これまでの4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)に精神疾患を加えた5疾病と、地域医療を確保する上で重要な5事業(救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療)及び在宅医療それぞれの医療連携体制の構築を図るとともに、引き続き、医師や看護師の不足に対応して、限られた医療資源を有効活用し、その適正な配置を図るなど、今後の地域医療提供体制の充実と強化を目指すこととしました。

この度作成した「西胆振地域推進方針」は、このような計画の見直しの趣旨と当地域における実情を踏まえ、当地域の医療連携体制の構築と円滑な推進を図るために取りまとめたものです。

推進方針の取りまとめに当たり、貴重なご意見をいただきました「西胆振保健医療福祉圏域連携推進会議」の委員の方々、並びに地域の関係団体の皆様に感謝申し上げますとともに、今後の医療施策の推進に当たり、一層のご協力をお願い申し上げます。

平成25年8月

北海道胆振総合振興局
保健環境部長 山本 長史

目 次	目 次
第1章 基本的事項	第1章 基本的事項
第1節 作成の趣旨	第1節 作成の趣旨
…	… 1
第2節 地域推進方針の名称	第2節 地域推進方針の名称
…	… 1
第3節 地域推進方針の期間	第3節 地域推進方針の期間
…	… 1
第2章 西胆振地域の概況	第2章 西胆振地域の概況
第1節 地勢	第1節 地勢
1 地域的状況や特殊性	… 2
2 交通機関の状況	… 2
3 生活圏	… 2
第2節 人口の推移	第2節 人口の推移
1 人口構造	… 3
2 人口動態	… 3
第3節 住民の健康状況	第3節 住民の健康状況
第4節 患者の受療動向等	第4節 患者の受療動向等
1 患者の受療動向	… 5
2 患者数	… 5
3 病床利用率	… 5
4 病床種類別の平均在院日数	… 5
第5節 医療施設	第5節 医療施設
1 病院	… 8
2 診療所	… 8
3 助産所	… 8
4 薬局	… 9
第6節 医療従事者の年次推移	第6節 医療従事者の年次推移
1 医師、歯科医師、薬剤師の状況	… 10
2 看護師、准看護師の状況	… 10
3 保健師、助産師の状況	… 10
4 歯科衛生士の状況	… 10
5 その他病院従事者の状況	… 10
第3章 5疾病・5事業及び在宅医療のそれぞれに係る医療連携体制の構築と推進	第3章 5疾病・5事業及び在宅医療のそれぞれに係る医療連携体制の構築と推進
第1節 がんの医療連携体制	第1節 がんの医療連携体制
…	… 12
1 現状	… 12
2 課題	… 14
3 必要な医療機能	… 15
4 数値目標等	… 16
5 数値目標等を達成するために必要な施策	… 16
6 医療機関等の具体的な名称	… 17
7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	… 18
8 薬局の役割	… 18
9 訪問看護ステーションの役割	… 18
第2節 脳卒中の医療連携体制	第2節 脳卒中の医療連携体制
…	… 19
1 現状	… 19
2 課題	… 22

3 必要な医療機能	3 必要な医療機能	23
4 数値目標等	4 数値目標等	24
5 数値目標等を達成するために必要な施策	5 数値目標等を達成するために必要な施策	24
6 医療機関等の具体的名称	6 医療機関等の具体的名称	25
7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	26
8 薬局の役割	8 薬局の役割	26
9 訪問看護ステーションの役割		
第3節 心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携体制	第3節 急性心筋梗塞の医療連携体制	
1 現状	1 現状	28
2 課題	2 課題	30
3 必要な医療機能	3 必要な医療機能	31
4 数値目標等	4 数値目標等	32
5 数値目標等を達成するために必要な施策	5 数値目標等を達成するために必要な施策	32
6 医療機関等の具体的名称	6 医療機関等の具体的名称	32
7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	33
8 薬局の役割	8 薬局の役割	33
9 訪問看護ステーションの役割		
第4節 糖尿病の医療連携体制	第4節 糖尿病の医療連携体制	
1 現状	1 現状	34
2 課題	2 課題	36
3 必要な医療機能	3 必要な医療機能	37
4 数値目標等	4 数値目標等	38
5 数値目標等を達成するために必要な施策	5 数値目標等を達成するために必要な施策	38
6 医療機関等の具体的名称	6 医療機関等の具体的名称	39
7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	39
8 薬局の役割	8 薬局の役割	39
9 訪問看護ステーションの役割		
第5節 精神疾患の医療連携体制	第5節 精神疾患の医療連携体制	
1 現状	1 現状	41
2 課題	2 課題	41
3 数値目標等	3 数値目標等	45
4 数値目標等を達成するために必要な施策	4 数値目標等を達成するために必要な施策	47
5 医療機関等の具体的名称	5 医療機関等の具体的名称	48
6 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	6 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	50
7 薬局の役割	7 薬局の役割	52
8 訪問看護ステーションの役割	8 訪問看護ステーションの役割	52
第6節 救急医療体制	第6節 救急医療体制	
1 現状	1 現状	53
2 課題	2 課題	55
3 必要な医療機能	3 必要な医療機能	55
4 数値目標等	4 数値目標等	56
5 数値目標等を達成するために必要な施策	5 数値目標等を達成するために必要な施策	56
6 医療機関等の具体的名称	6 医療機関等の具体的名称	57
7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	58
8 薬局の役割	8 薬局の役割	58
9 訪問看護ステーションの役割		
第7節 災害医療体制	第7節 災害医療体制	
1 現状	1 現状	59
2 課題	2 課題	60
3 必要な医療機能	3 必要な医療機能	60
4 数値目標等	4 数値目標等	60
5 数値目標等を達成するために必要な施策	5 数値目標等を達成するために必要な施策	61
6 医療機関等の具体的名称	6 医療機関等の具体的名称	61
7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	62
8 薬局の役割	8 薬局の役割	62
9 訪問看護ステーションの役割		
第8節 べき地医療体制	第8節 べき地医療体制	
		63

● 国の指針に基づき追加

● 国の指針に基づき「心筋梗塞等の心血管疾患」に修正

● 国の指針に基づき追加

● 現行計画では、道計画に準拠して記載していたが、道の新計画の記載内容は、圏域の計画にはなじまないため、削除

● 国の指針に基づき追加

● 国の指針に基づき追加

● 国の指針に基づき追加

● 国の指針に基づき追加

1 現状	63	
2 課題	65	
3 必要な医療機能	65	
4 数値目標等	66	
5 数値目標等を達成するために必要な施策	66	
6 医療機関等の具体的名称	67	
7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	67	
8 薬局の役割	67	
9 訪問看護ステーションの役割		● 国の指針に基づき追加
第9節 周産期医療体制	…	
1 現状	68	
2 課題	68	
3 必要な医療機能	69	
4 数値目標等	69	
5 数値目標等を達成するために必要な施策	70	
6 医療機関等の具体的名称	71	
7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	72	
8 薬局の役割	72	
9 訪問看護ステーションの役割		● 国の指針に基づき追加
第10節 小児医療体制（小児救急医療を含む）	…	
1 現状	73	
2 課題	73	
3 必要な医療機能	74	
4 数値目標等	75	
5 数値目標等を達成するために必要な施策	75	
6 医療機関等の具体的名称	76	
7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	77	
8 薬局の役割	77	
9 訪問看護ステーションの役割		● 国の指針に基づき追加
第11節 在宅医療（終末期医療を含む）の提供体制	…	
1 現状	78	
2 課題	78	
3 必要な医療機能	79	
4 数値目標等	81	
5 数値目標等を達成するために必要な施策	82	
6 医療機関等の具体的名称	83	
7 歯科医療機関（病院歯科、歯科診療所）の役割	83	
8 薬局の役割	84	
9 訪問看護ステーションの役割		● 国の指針に基づき追加
第4章 地域保健医療対策の推進		
第1節 難病対策	…	
1 現状		
2 課題		
3 施策の方向性		● 道計画に準じ、5疾病5事業及び在宅医療以外の項目は、地域保健医療対策として章立て ● 地域の対策を追加
第2節 歯科保健医療対策	…	
1 地域歯科保健医療	85	
2 障がい者及び要介護高齢者等の歯科保健医療	85	
3 へき地における歯科保健医療	87	
4 高次歯科医療及び休日救急歯科医療	88	
5 医科歯科連携の推進	88	
6 数値目標等	89	
第5章 地域推進方針の進行管理	…	● 道計画に沿った表現へ変更 ● 高齢化の進行等を考慮し追加 ● 第1章から移章

北海道医療計画西胆振地域推進方針新旧対照表

新 (H 30 西胆振地域推進方針)	旧 (H 25 西胆振地域推進方針)	理由
第1章 基本的事項	第1章 基本的事項	
第1節 作成の趣旨	第1節 作成の趣旨	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 20 年 3 月に策定した北海道医療計画（以下、「道計画」という。）においては、計画の中核をなす疾病・事業それぞれの医療連携体制の構築とその推進について、地域単位で保健所が市町村、医療機関、関係団体、道民等と共に取組む必要があることから、道計画の策定に合わせ、第二次医療圏の中心となる保健所において、地域の実情に応じた医療連携体制を構築し、円滑に推進するための方針として、圏域ごとに「地域推進方針」を作成し、また、道計画を 25 年 3 月に一部改訂したことにより、地域推進方針についても、25 年度に見直しを行っています。 ○ 現行の地域推進方針の期間は、道計画と同様に、期間を概ね 5 年間としていることから、平成 30 年度を始期とする新たな道計画の策定と合わせ、第二次医療圏ごとに設置している保健医療福祉圏域連携推進会議において、現行の地域推進方針目標の達成状況や施策の推進状況の評価などを行い、5 疾病・5 事業及び在宅医療それぞれに係る医療連携体制を構築し、円滑な推進を図るために、西胆振圏域における地域推進方針を作成することとしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 20 年 3 月に策定した北海道医療計画は、平成 20 年度から 29 年度までの概ね 10 年間を計画期間としており、この計画の中核をなす疾病・事業等それぞれの医療連携体制の構築と推進については、地域単位で保健所が市町村・医療機関・関係団体等と共に取組む必要があることから、計画の策定に合わせ、西胆振地域における医療連携体制を構築し、円滑に推進するための指針として、平成 20 年 11 月に地域推進方針を作成しました。 ○ 現行の地域推進方針は、期間をおおむね 5 年間としていることから、国の医療計画作成指針などを参考に、北海道医療計画の見直しに合わせ、西胆振保健医療福祉圏域連携推進会議において、目標の達成状況や、施策の進捗状況の評価などの検討を行い、国の医療計画作成指針により新たに加わった精神疾患と在宅医療を加えた、5 疾病・5 事業及び在宅医療それぞれに係る医療連携体制を構築し、円滑な推進を図るために指針として、新たに地域推進方針を作成するものです。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道マニュアル準拠 ● 道マニュアル準拠
第2節 地域推進方針の名称	第2節 地域推進方針の名称	
第二次医療圏の名称を冠し、「北海道医療計画西胆振地域推進方針」とします。	第二次医療圏の名称を冠し、「北海道医療計画〔改訂版〕西胆振地域推進方針」とします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 道マニュアル準拠
第3節 地域推進方針の期間	第3節 地域推進方針の期間	
北海道医療計画にあわせ、平成 35 年までの 6 年間とします。 (平成 30 年度～平成 35 年度までの 6 年間) ただし、道計画は、在宅医療その他必要な事項については、3 年ごとに調査、分析及び評価などを行い、必要がある場合は計画を変更するものとしていますので、地域推進方針についても同様の取り扱いとします。	北海道医療計画〔改訂版〕にあわせ、平成 29 年までの概ね 5 年間とします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 道マニュアル準拠
第2章 西胆振地域の概況	第2章 西胆振地域の概況	
第1節 地勢	第1節 地勢	
1 地域的状況や特殊性	1 地域的状況や特殊性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 西胆振は、北海道の中央南部に位置し、室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、洞爺湖町、壯瞥町の 6 市町で構成され、面積は 1,356k m² と 21 の第二次医療圏の中では、北空知圏域に次いで小さく、北海道の総面積 78,420k m² (北方領土を除く) の 1.7 %です。 ○ 地形は、変化に富んだ海岸沿いの平坦地から内陸部へ向かって丘陵地、山岳と続き、ほぼ中央部に洞爺湖や有珠山があり、東にはホロホロ山、オロフレ山、鷲別岳が南北に並んでいます。 ○ 支笏洞爺国立公園に指定されている優れた景勝地があります。洞爺湖周辺では、有珠山、昭和新山などが国際的にも重要な火山現象と火山地形を呈しています。登別温泉周辺は、登別地獄谷、大湯沼、俱多楽湖などから構成され、温泉郷独特のたたずまいを見せています。 ○ 気候は、全般的に臨海性で一部には海霧の発生する地域や冷涼な地域を含みま 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西胆振は、北海道の中央南部に位置し、室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町の 6 市町で構成され、面積は 1,356k m² と 21 の第二次医療圏の中では、北空知圏域に次いで小さく、北海道の総面積 78,420k m² (北方領土を除く) の 1.7 %です。 ○ 地形は、変化に富んだ海岸沿いの平坦地から内陸部へ向かって丘陵地、山岳と続き、ほぼ中央部に洞爺湖や有珠山があり、東にはホロホロ山、オロフレ山、鷲別岳が南北に並んでいます。 ○ 支笏洞爺国立公園に指定されている優れた景勝地があります。洞爺湖周辺では、有珠山、昭和新山などが国際的にも重要な火山現象と火山地形を呈しています。登別温泉周辺は、登別地獄谷、大湯沼、俱多楽湖などから構成され、温泉郷独特のたたずまいを見せています。 ○ 気候は、全般的に臨海性で一部には海霧の発生する地域や冷涼な地域を含みま 	<ul style="list-style-type: none"> ● 修正なし（現行計画と同） ● 修正なし（現行計画と同） ● 修正なし（現行計画と同） ● 修正なし（現行計画と同） ● 修正なし（現行計画と同）
第4節 地域推進方針の進行管理		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本方針については、地域の医療機関に関する情報、医療に関する相談窓口の情報など、広く住民に知っていただきたい情報が含まれていることから、胆振総合振興局のホームページに掲載するほか、閲覧できるようにします。 ○ 本方針を効果的かつ着実に推進するため、各施策等の進捗状況や数値目標等の達成状況の評価を西胆振保健医療福祉圏域連携推進会議においてを行い、評価結果に基づき必要があると認めたときは、方針の見直し等について検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第5章に移項

すが、積雪寒冷の厳しい北海道にあっては、山間部の一部を除き温暖で積雪量が少ないなど暮らしやすい地域となっています。

2 交通機関の状況

(道 路)

- 北海道縦貫自動車道、国道 36 号、37 号、230 号、276 号、453 号のほか、主要道などを基幹道路として、これに連絡する市町道で構成されています。
- 広域行政圏における中心の室蘭市のほか、準中心市町の伊達市及び洞爺湖町を起終点とするバス路線は、地域住民の生活交通手段として重要な役割を果たしています。

また、札幌や新千歳空港と室蘭間は都市間バスが運行されています。

(鉄 道)

- 沿岸を走るJR室蘭本線は、広域的な大量輸送機関として圏域住民の通勤通学はもとより、産業用物資と観光客の輸送等、大きな役割を担っており、東室蘭・札幌間は約 1 時間 30 分、東室蘭・函館間は約 2 時間で結ばれています。

(港 湾)

- 特定重要港湾である室蘭港は、静穏で広い水域を有し、札幌圏や支笏洞爺国立公園など、背後圏への幹線道路網等が整備されている特性を活かし、北海道の流通拠点・工業拠点として発展するとともに、水深 14 メートル岸壁、フェリー埠頭、旅客船バースや浮体式防災施設（広域防災フロート）の整備など機能強化を進めています。定期旅客航路の室蘭・青森間のフェリーが、平成 20 年 11 月に廃止となりましたが、平成 30 年 6 月に、室蘭・宮古間のフェリーが就航しました。

3 生活圏

- 圏域の 6 市町では、以前より通勤・通学・医療・商業などのつながりがあり、西いぶり広域連合を設立し、ごみの共同処理や、住民記録や税などの共同電算など行政事務を行ってきています。
- 近年の人口減少や住民生活に必要な機能を確保するために、圏域の将来ビジョンを作成し、その実現の一つの手法として、6 市町が連携し定住自立圏構想を推進することとしています。室蘭市は、定住自立圏構想の「中心市宣言」を行っています。

第2節 人口の推移

1 人口構造

(人 口)

- 平成 27 年国勢調査では、人口は 189,696 人で北海道の総人口の 3.5 %を占め、人口密度は 139.8 人/km²と札幌、南渡島圏域に次いで高くなっています。
- 人口は、基幹産業の鉄鋼、造船企業の相次ぐ合理化等に伴い、昭和 50 年の国勢調査で初めて減少し、平成 27 年国勢調査では前回（平成 22 年）調査と比較して 10,535 人減少しました。
- 総人口に占める 65 歳以上の人口の割合は、昭和 60 年国勢調査では 10.7 %でしたが、平成 17 年は 26.2 %、平成 22 年は 29.8 %、平成 27 年では 34.4 %と、高齢化が進行しています。
- 国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口（平成 30 年 3 月推計）では、今後も出生数の低下などの要因で減少傾向にあり、平成 37 年（2025 年）には約 2 万 5 千人、平成 52 年（2040 年）には約 7 万 5 千人の減少が見込まれています。

(年齢3区分別構成割合)

- 年齢 3 区分別構成割合では、年少人口割合（15 歳未満）、生産年齢人口割合（15 歳から 64 歳）が減少しており、平成 7 年国勢調査で老人人口割合（65 歳以上）が年少人口割合を上回りました。
- 老年人口割合は年々増加しており、平成 27 年で 34.6 %と、全道の老齢人口の割合 29.0 %よりも上回っています。

(世帯数)

- 平成 27 年国勢調査では、一般世帯数は 8 万 7,732 世帯となっており、構成割合では、単独世帯が 37.8 %（3 万 3,039 世帯）、夫婦のみの世帯が 26.1 %（2 万 3,358

すが、積雪寒冷の厳しい北海道にあっては、山間部の一部を除き温暖で積雪量が少ないなど暮らしやすい地域となっています。

2 交通機関の状況

(道 路)

- 北海道縦貫自動車道、国道 36 号、37 号、230 号、276 号、453 号のほか、主要道などを基幹道路として、これに連絡する市町道で構成されています。
- 広域行政圏における中心の室蘭市のほか、準中心市町の伊達市及び洞爺湖町を起終点とするバス路線は、地域住民の生活交通手段として重要な役割を果たしています。

また、札幌や新千歳空港と室蘭間は都市間バスが運行されています。

(鉄 道)

- 沿岸を走るJR室蘭本線は、広域的な大量輸送機関として圏域住民の通勤通学はもとより、産業用物資と観光客の輸送等、大きな役割を担っており、東室蘭・札幌間は約 1 時間 20 分、東室蘭・函館間は約 2 時間で結ばれています。

(港 湾)

- 特定重要港湾である室蘭港は、静穏で広い水域を有し、札幌圏や支笏洞爺国立公園など、背後圏への幹線道路網等が整備されている特性を活かし、北海道の流通拠点・工業拠点として発展するとともに、水深 14 メートル岸壁、フェリー埠頭、旅客船バースや浮体式防災施設（広域防災フロート）の整備など機能強化を進めています。定期旅客航路の室蘭・青森間のフェリーが、平成 20 年 11 月に廃止となっていました。

3 生活圏

- 圏域の 6 市町では、以前より通勤・通学・医療・商業などのつながりがあり、西いぶり広域連合を設立し、ごみの共同処理や、住民記録や税などの共同電算など行政事務を行ってきています。
- 近年の人口減少や住民生活に必要な機能を確保するために、圏域の将来ビジョンを作成し、その実現の一つの手法として、6 市町が連携し定住自立圏構想を推進することとしています。室蘭市は、定住自立圏構想の「中心市宣言」を行っています。

第2節 人口の推移

1 人口構造

(人 口)

- 平成 22 年国勢調査では、人口は 200,231 人で北海道の総人口の 3.6 %を占め、人口密度は 147.6 人/km²と札幌、南渡島圏域に次いで高くなっています。
- 人口は、基幹産業の鉄鋼、造船企業の相次ぐ合理化等に伴い、昭和 50 年の国勢調査で初めて減少し、平成 22 年国勢調査では前回（平成 17 年）調査と比較して 7,929 人減少しました。
- 総人口に占める 65 歳以上の人口の割合は、昭和 60 年国勢調査では 10.7 %でしたが、平成 12 年は 22.0 %、平成 17 年は 26.2 %、平成 22 年では 29.8 %と、高齢化が進行しています。

(年齢3区分別構成割合)

- 年齢 3 区分別構成割合では、年少人口割合（15 歳未満）、生産年齢人口割合（15 歳から 64 歳）が減少しており、平成 7 年国勢調査で老人人口割合（65 歳以上）が年少人口割合を上回りました。
- 老年人口割合は年々増加しており、平成 22 年で 29.8 %と、全道の老齢人口の割合 24.6 %よりも上回っています。

(世帯数)

- 平成 22 年国勢調査では、一般世帯数は 8 万 9,664 世帯となっており、構成割合では、単独世帯が 32.8 %（2 万 9,378 世帯）、夫婦のみの世帯が 27.2 %（2 万 4,306

● 修正なし（現行計画と同）

● 修正なし（現行計画と同）

● JR の所要時間を修正（室蘭市HP）

● フェリーの新規航路を反映

● 修正なし（現行計画と同）

● 直近の数値に修正

● 道計画に基づき追加

● 直近の数値に修正

● 直近の数値に修正

世帯)などとなっており、単独世帯が増加しています。

- 一世帯当たりの人員は平均 2.16 人となっており、21 の第二次医療圏の中では 1 番少ない世帯人員数となっています。
- なお、高齢者（65 歳以上）のいる世帯については、年々増加しており、その一方、三世代世帯は減少しています。

2 人口動態

(出生数)

- 平成 27 年における出生数は 1,181 人で、昭和 55 年の 3 分の 1 程度の出生数となっており、出生数の減少は大変顕著なものになっています。
- 合計特殊出生率＊1 で見ると、平成 27 年人口動態統計の全道の 1.31 人に対し、西胆振は 1.49 人と高い状況となっています。

(死亡数)

- 死亡数は年々増加傾向にあり、平成 27 年では 2,608 人となっています。死因順位は、第 1 位がん 30.2 %（男性 34.8 %、女性 25.2 %）、第 2 位心疾患 18.2 %（男性 16.7 %、女性 19.7 %）、第 3 位脳血管疾患 8.8 %（男性 8.1 %、女性 9.6 %）となっています。
- 周産期死亡数、乳児死亡数は減少傾向にあり、平成 27 年では周産期死亡数 2 人、乳児死亡数 2 人となっています。

第3節 住民の健康状況

- 北海道健康増進計画指標調査事業報告書該当比によると、肥満者（BMI25 以上）の割合を全国と比較すると、成人男性では 114.3、成人女性では 120.8 となっています。＊2
- 喫煙者の状況については、喫煙者の割合を全国と比較すると、成人男性では 116.2、成人女性では 179.8 となっています。＊2
- 降圧剤服用者の割合については、成人男性では 101.3、成人女性では 104.9 となっています。＊2
- メタボリックシンドロームを判定するための基準の一つである腹囲異常の状況については、腹囲異常者（腹囲：男性 85cm 以上、女性 90cm 以上）の割合を全国と比較すると、成人男性では 100.9、成人女性では 106.4 となっています。＊2
- HbA1c 異常の状況については、HbA1c 異常者（HbA1c 5.6% 以上）の割合を全国と比較すると、成人男性では 94.9、成人女性では 90.3 となっています。＊2、＊3

*1 合計特殊出生率：一人の女性が生涯に生む子どもの数に近似する指標

*2 平成 29 年度北海道健康増進計画指標調査事業（北海道見える化事業）報告書（北海道保健福祉部健康安全局地域保健課・北海道保険者協議会・学校法人淳心学園 北海道千歳リハビリテーション大学）

*3 HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）：過去 1～3か月の血糖値のコントロール指標

第4節 患者の受療動向等

1 患者の受療動向

- 平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月診療分のレセプト（国保、退職者国保及び後期高齢）による受療動向から、市町村に居住する患者が、どの区域の医療機関を受診しているのか（流出率）、第二次医療圏内でまかなえる医療の割合はどのくらいなのか（自給率）をみると、当地域内の自給率は、入院 96.0 %（全道 91.2 %）で、外来が 97.9 %（全道 96.3 %）で、高い自給率となっています。
- 市町別で、各市町内の自給率をみた場合、室蘭市や伊達市に患者が集まることが分かります。＊ 受療動向については P. 6, 7 を参照。

世帯)などとなっており、単独世帯及び夫婦のみ世帯ともに増加しています。

- 一世帯当たりの人員は平均 2.23 人となっており、21 の第二次医療圏の中では 2 番目に少ない世帯人員数となっています。
- なお、高齢者（65 歳以上）のいる世帯については、年々増加しており、その一方、三世代世帯は減少しています。

2 人口動態

(出生数)

- 平成 22 年における出生数は 1,334 人で、昭和 55 年の 4 割にも満たない出生数となっており、出生数の減少は大変顕著なものになっています。
- 合計特殊出生率＊1 で見ると、平成 17 年人口動態統計の全道の 1.15 人に対し、西胆振は 1.24 人と高い状況にはありますが、21 の第二次医療圏の中では 14 番目と低い順位にあります。

● 直近の数値に修正

(死亡数)

- 死亡数は年々増加傾向にあり、平成 22 年では 2,538 人となっています。死因順位は、第 1 位がん 31.4 %（男性 34.4 %、女性 27.7 %）、第 2 位心疾患 16.9 %（男性 15.5 %、女性 18.8 %）、第 3 位脳血管疾患 11.1 %（男性 10.7 %、女性 11.6 %）となっています。
- 周産期死亡数、乳児死亡数は減少傾向にあり、平成 22 年では周産期死亡数 11 人、乳児死亡数 7 人となっています。

● 直近の数値に修正
他医療圏との比較は削除

第3節 住民の健康状況

- 運動習慣については、運動習慣のある者は、成人男性では 30.6 %（全道 39.1 %）、成人女性では 35.6 %（全道 34.5 %）となっています。＊2
- 食生活については、朝食をとらない者の割合が、成人男性では 9.7 %（全道 11.2 %）、成人女性では 4.5 %（全道 7.6 %）となっています。年代別では 20 歳代に多く、年代が高くなるほどに少なくなる傾向にあります。＊2
- 肥満とやせについては、肥満の割合が成人男性では 30.8 %（全道 40.2 %）、成人女性では 20.6 %（全道 29.5 %）と、やせの割合が 20～29 歳の女性では 10.0 %（全道 33.3 %）となっています。＊2
- 休養については、睡眠による休養を十分にとれていない人の割合は、成人男性では 13.9 %（全道 15.6 %）、成人女性では 15.9 %（全道 19.7 %）となっています。＊2
- 喫煙については、「毎日吸っている」または「たまに吸っている」者の割合は、成人男性では 38.2 %（全道 35.0 %）、成人女性では 10.6 %（全道 16.2 %）となっています。＊2
- 飲酒については、習慣的に多量飲酒する者の割合については、成人男性 6.3 %（全道 8.4 %）、成人女性では 1.2 %（全道 0.9 %）となっています。＊3

● 直近の数値に修正
実態調査を行っていないため、他指標に変更

*1 合計特殊出生率：一人の女性が生涯に生む子どもの数に近似する指標

*2 西胆振～西胆振地域健康づくり行動指針実態調査（平成 23 年）、全道～健康づくり道民調査（平成 22 年）

*3 習慣多量飲酒者：週 3 回以上、かつ 1 日に純アルコールで約 60 g 以上酒類を飲む人

第4節 患者の受療動向等

1 患者の受療動向

- 道では、ほぼ 5 年ごとに国民健康保険等のレセプトデータを分析し、市町村に居住する患者が、どの区域の医療機関を受診しているのか（流出率）、第二次医療圏内でまかなえる医療の割合はどのくらいなのか（自給率）などを把握するための調査を行っており、直近では、北海道大学が平成 22 年 4 月～12 月の受診状況を電子レセプトデータを基に分析を行っています。
- 西胆振圏域内の自給率は、入院 94.1 %（全道 91.2 %）で、外来が 97.5 %（全道 96.3 %）で、高い自給率となっていますが、人口の急速な高齢化などを踏まえると、移動の手段が限られる高齢者への対応が重要になります。
なお、主な流出先圏域は、札幌、東胆振などとなっています。＊ 受療動向については P. 6, 7 を参照。

● 受療動向に関するデータは、医療計画作成支援データブックとして国から配布されることから、所要の文言を削除

● 直近の数値に修正

2 患者数

(1) 1日平均外来患者数

平成 28 年の「病院報告」(厚生労働省)によると、人口 10 万対 1 日平均外来患者数は 1,493.7 人(全道: 1,438.3 人、全国: 1,068.1 人)で、このうち、「一般病院」は 1,366.0 人(全道: 1,366.0 人、全国: 1,023.0 人)、「精神科病院」は 127.7 人(全道: 71.9 人、全国: 45.6 人)となっており、全道及び全国平均値を上回っています。

(2) 1日平均在院患者数

平成 28 年の「病院報告」(厚生労働省)において、人口 10 万対 1 日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「一般病床」は 753.8 人(全道: 725.7 人、全国: 528.2 人)、「療養病床」は 734.9 人(全道: 359.4 人、全国: 228.3 人)、「精神病床」は 746.9 人(全道: 326.5 人、全国: 227.4 人)で、全ての病床で全道及び全国値を大きく上回っています。

3 病床利用率

平成 28 年の「病院報告」(厚生労働省)によると、病院の病床利用率は 79.7 % (全道 79.1 %、全国 80.1 %) であり、病床の種類別にみると、「一般病床」は 71.3 % (全道: 73.7 %、全国: 75.2 %)、「療養病床」は 80.2 % (全道: 86.1 %、全国: 88.2 %) となっており、全道及び全国とほぼ同じ病床利用率となっています。

4 病床種類別の平均在院日数

平成 28 年の「病院報告」(厚生労働省)によると、病院の平均在院日数は 49.1 日(全道: 32.1 日、全国: 28.5 日)であり、病床の種類別にみると、「一般病床」は 18.5 日(全道: 17.5 日、全国: 16.2 日)、「療養病床」は 192.9 日(全道: 215.6 日、全国: 152.2 日)となっており、全ての病床で全道及び全国値を上回っています。

第5節 医療施設

1 病院*1

- 病院数は、平成 2 年の 29 か所から減少傾向にあり、平成 27 年 10 月 1 日現在では、21 か所となっています。
- 人口 10 万対病院数は、平成 27 年で 11.1 と全道の 10.5 と同水準になっており、全国平均の 6.7 を上回っています。
- 病床数は、平成 27 年では 5,297 となっており、横ばいとなっています。

【西胆振の病院数の推移】*1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
病院数	29	27	23	24	21	21	21	21	21	21

【西胆振の開設者別病院数】*2

開設者	国	市町	日赤	社会事業協会	医療法人	計
病院数	1	2	1	1	16	21

2 患者数

(1) 1日平均外来患者数

平成 22 年の病院報告によると、人口 10 万対 1 日平均外来患者数は 1,565.1 人(全道: 1,484.1 人、全国: 1,102.8 人)で、このうち、「精神科病院」は 80.7 人(全道: 66.8 人、全国: 44.2 人)、「一般病院」は 1,484.4 人(全道: 1,417.3 人、全国: 1,058.6 人)となっており、全道及び全国平均値を上回っています。

●直近の数値に修正

(2) 1日平均在院患者数

平成 22 年の病院報告によると、人口 10 万対 1 日平均在院患者数は、病床の種類別にみると「精神病床」は 719.6 人(全道: 345.8 人、全国: 243.1 人)、「一般病床」は 790.4 人(全道: 742.6 人、全国: 541.1 人)、「療養病床」は 714.6 人(全道: 392.8 人、全国: 239.1 人)で、全ての病床で全道及び全国値を大きく上回っています。

●直近の数値に修正

3 病床利用率

平成 22 年の北海道保健統計年報及び病床数等調査によると、病院の病床利用率は 83.0 % (全道 82.1 %、全国 82.3 %) で、病床の種類別にみると、「精神病床」は 89.2 % (全道: 89.9 %、全国: 89.6 %)、「一般病床」は 76.7 % (全道: 76.0 %、全国: 76.6 %)、「療養病床」は 85.8 % (全道: 90.2 %、全国: 91.7 %) で、全道及び全国とほぼ同じ病床利用率となっています。

●直近の数値に修正

4 病床種類別の平均在院日数

平成 22 年病院報告によると、病院の平均在院日数は 54.6 日(全道: 37.6 日、全国: 32.5 日)で、病床の種類別にみると「精神病床」は 384.7 日(全道: 301.9 日、全国: 301.0 日)、「一般病床」は 21.6 日(全道: 20.0 日、全国: 18.2 日)、「療養病床」は 213.5 日(全道: 234.7 日、全国: 176.4 日)となっており、療養病床を除き全道及び全国値を上回っています。

*1 健康づくり道民調査(平成 22 年)

*2 西胆振～西胆振地域健康づくり行動指針実態調査(平成 23 年)、全道～健康づくり道民調査(平成 22 年)

第5節 医療施設

1 病院*1

- 病院数は、平成 2 年の 29 か所から減少傾向にあり、平成 22 年で 21 か所となっています。
- 人口 10 万対病院数は、平成 20 年で 10.5 と全道と同水準にあります。
- 病床数も全道と同様に年々減少しており、平成 22 年では 5,345 となっています。

●直近の数値に修正

【西胆振の病院数の推移】*1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
病院数	29	27	23	24	24	23	23	21	21

【西胆振の開設者別病院数】*2

開設者	市町	日赤	社会事業協会	厚生農業協同組合	医療法人	計
病院数	2	1	1	1	16	21

【西胆振の病床数の推移】*1

区分	総 数	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床
平成 2年	6,100	1,681	50	57	—	4,312
平成 7年	5,950	1,629	50	45	—	4,226
平成 12年	5,532	1,693	4	24	513	3,298
平成 17年	5,757	1,661	4	24	1,952	2,116
平成 22年	5,345	1,621	4	24	1,643	2,062
平成 23年	5,358	1,604	4	24	1,664	2,062
平成 24年	5,298	1,544	4	24	1,664	2,062
平成 25年	5,298	1,544	4	24	1,664	2,062
平成 26年	5,298	1,544	4	24	1,708	2,018
平成 27年	5,297	1,544	4	24	1,724	2,001

2 診療所*1

- 一般診療所数は、平成 27 年 10 月 1 日現在では、116 か所（有床 9 か所、無床 107 か所）となっており、全道と同様に無床診療所が増加し有床診療所が減少しています。
- 歯科診療所数は、平成 27 年 10 月 1 日現在では、95 か所となっており、横ばいとなっています。

【西胆振の一般診療所数の推移】*1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
有床診療所数	43	34	26	17	13	10	10	10	7	9
無床診療所数	80	86	92	96	96	95	100	99	103	107

【西胆振の歯科診療所数の推移】*1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
診療所数	92	99	99	97	98	99	99	99	94	95

*1 北海道保健統計年報 10月1日現在

*2 北海道室蘭総合振興局保健行政室調

3 助産所*1

- 本道の助産所数は、平成 29 年 4 月 1 日現在では、51 か所となっており、増加傾向にあります。
- 西胆振の助産所数は、平成 29 年 4 月 1 日現在では、3 か所となっており、横ばいとなっています。

【西胆振の助産所数の推移】*1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
助産所数	0	0	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3

4 薬局*2

薬局数は、平成 29 年 3 月 31 日現在では、90 か所となっており、平成 17 年以降横ばいとなっています。

【西胆振の薬局数の推移】*1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
薬局数	60	63	79	97	94	94	94	91	92	93	92	90

*1 日胆地域保健情報 各年 10 月 1 日現在

*2 北海道保健福祉部医療薬務課調

第6節 医療従事者の年次推移

1 医師、歯科医師、薬剤師の状況*1

医師は、平成 16 年を頂点に減少傾向にありますが、歯科医師は横ばい、薬剤師は増加傾向にあります。

平成 28 年では、平成 18 年と比較して、医師は 35 人 ($\Delta 8.6\%$) の減少となっていますが、歯科医師は 1 人 (0.8 %)、薬剤師は 24 人 (7.6 %) の増加となっています。

【西胆振の病床数の推移】*1

区分	総 数	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床
平成 2年	6,100	1,681	50	57	—	4,312
平成 7年	5,950	1,629	50	45	—	4,226
平成 12年	5,532	1,693	4	24	513	3,298
平成 17年	5,757	1,661	4	24	1,952	2,116
平成 18年	5,681	1,620	4	24	1,907	2,126
平成 19年	5,577	1,620	4	24	1,744	2,185
平成 20年	5,587	1,630	4	24	1,867	2,062
平成 21年	5,353	1,620	4	24	1,643	2,062
平成 22年	5,345	1,612	4	24	1,643	2,062

●直近の数値に修正

2 診療所*1

- 一般診療所数は、平成 22 年で 109 か所（有床 13 か所、無床 96 か所）となっており、全道と同様に無床診療所が増加し有床診療所が減少しています。

- 歯科診療所数は、平成 22 年で 98 か所となっており、横ばいとなっています。

【西胆振の一般診療所数の推移】*1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
有床診療所数	43	34	26	17	16	15	15	14	13
無床診療所数	80	86	92	96	97	96	93	94	96

【西胆振の歯科診療所数の推移】*1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
診療所数	92	99	99	97	97	97	99	95	98

*1 北海道保健統計年報 10月1日現在

*2 北海道室蘭総合振興局保健環境部調

●直近の数値に修正

3 助産所*1

- 本道の助産所数は、平成 22 年で 35 か所となっており、傾向としては横ばいとなっています。

- 西胆振の助産所数は、平成 22 年で 2 か所となっています。

【西胆振の助産所数の推移】*1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
助産所数	0	0	2	2	1	1	1	2	2

●直近の数値に修正

4 薬局*2

薬局数は、平成 22 年 3 月 31 日現在、94 か所となっており、平成 17 年以降横ばいにあります。

【西胆振の薬局数の推移】*1

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
薬局数	60	63	79	94	95	95	94		

【西胆振の医師、歯科医師、薬剤師の状況】*1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
医 師	474	480	493	460	407	419	420	441	425
歯科医師	115	120	116	119	117	122	125	123	120
薬剤師	278	283	286	316	308	335	324	336	340

2 看護師、准看護師の状況*1

看護師は増加傾向にあり、平成 28 年では、10 年前の平成 18 年と比較して、672 人 (33.7 %) の増加となっていますが、准看護師は 274 人 (△ 28.2 %) の減少となっています。

【西胆振の看護師、准看護師の状況】*1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
看護師	1,677	1,758	1,951	1,996	2,075	2,232	2,405	2,562	2,668
准看護師	1,032	1,009	1,032	972	901	830	804	776	698

3 保健師、助産師の状況*1

保健師、助産師ともに近年は、平成 18 年頃を頂点に減少傾向にあり、平成 28 年では、10 年前の平成 18 年と比較して、保健師 13 人 (△ 9.9 %)、助産師 2 人 (△ 3.9 %) の減少となっています。

【西胆振の保健師、助産師の状況】*1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
保健師	90	93	119	131	114	85	120	118	118
助産師	63	52	48	51	43	42	52	51	49

4 歯科衛生士の状況*1

歯科衛生士は増加傾向にあり、平成 28 年では、10 年前の平成 18 年と比較して、46 人 (86.8 %) の増加となっています。

【歯科衛生士の状況】*1

区分	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
歯科衛生士	38	34	40	47	53	68	70	78	89	99

5 その他病院従事者の状況*2

病院従事者の理学療法士、作業療法士は、増加傾向にあり、平成 28 年は、平成 18 年と比較して、理学療法士 90.7 人 (93.8 %)、作業療法士 84.0 人 (112.1 %) 増加となっています。

その他の医療従事者については、次表のとおりとなっています。

*1 北海道保健統計年報 隅年末現在

*2 北海道保健統計年報（病院報告（従事者票） 各年 10 月 1 日現在
平成 17 年以降は常勤換算後の人員

【西胆振のその他病院従事者の状況】*1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
理 学 療 法 士	42	56.3	84.6	96.7	101.3	118.2	145.2	177.1	187.4
作 業 療 法 士	30	39.3	56.3	74.9	86.9	103.7	113.4	142.2	158.9
医療社会事業従事者	29	29.0	45.0	47.9	33.5	28.5	26.0	21.0	24.8
管 理 栄 費 士	36	32.0	32.0	37.0	37.8	38.5	45.3	53.3	50.8
栄 費 士	14	16.0	15.5	11.5	7.3	5.5	6.8	2.8	3.0
診 療 放 射 線 技 師	84	83.0	90.0	92.7	87.8	92.0	96.0	106.1	113.4
臨 床 検 査 技 師・衛 生 検 査 技 師	107	102.7	108.4	107.2	104.4	103.3	105.0	111.0	107.4
視 能 訓 練 士	4	4.0	5.0	4.0	5.0	6.0	8.0	8.1	8.1
言 語 聰 賢 士	9	12.0	18.0	23.0	25.0	32.1	35.0	42.5	44.8
臨 床 工 学 技 士	24	32.0	37.0	46.0	44.0	46.0	46.0	54.0	56.8
義 肢 装 具 士	2	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0
歯 科 技 士	1	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*1 北海道保健統計年報（病院報告（従事者票） 各年 10 月 1 日現在
平成 14 年以降は常勤換算後の人員

【西胆振の医師、歯科医師、薬剤師の状況】*1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年
医 師	474	480	493	460	407	419
歯科医師	115	120	116	119	117	122
薬剤師	278	283	286	316	308	335

2 看護師、准看護師の状況*1

看護師は増加傾向にあり、平成 22 年は、平成 12 年と比較して、555 人 (33.1 %) の増加となっていますが、准看護師は 202 人 (△ 19.6 %) の減少となっています。

【西胆振の看護師、准看護師の状況】*1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年
看護師	1,677	1,758	1,951	1,996	2,075	2,232
准看護師	1,032	1,009	1,032	972	901	830

3 保健師、助産師の状況*1

保健師、助産師ともに平成 18 年頃を頂点に減少傾向にあり、平成 22 年は、平成 12 年と比較して、保健師 5 人 (△ 5.6 %)、助産師 21 人 (△ 33.3 %) の減少となっています。

【西胆振の保健師、助産師の状況】*1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年
保健師	90	93	119	131	114	85
助産師	63	52	48	51	43	42

- 直近の数値に修正

- 直近の数値に修正

- 第4章との整合性を図るために追加

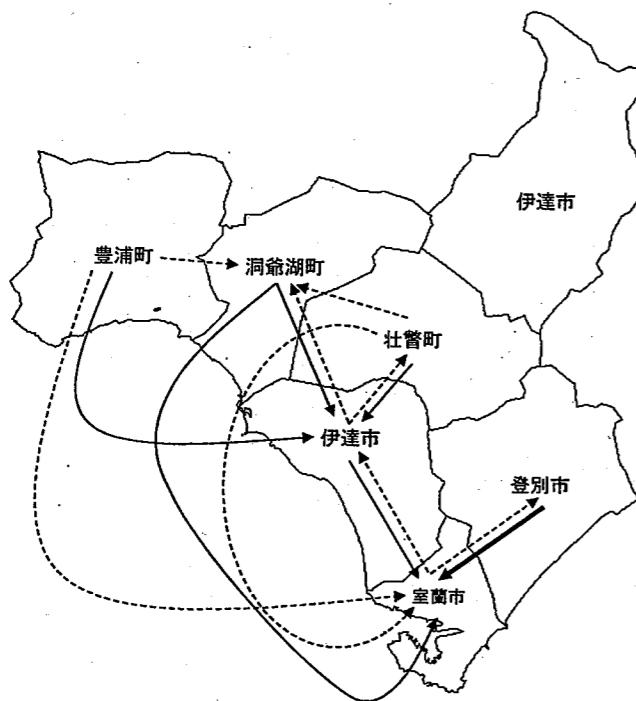
- 直近の数値に修正

【西胆振のその他病院従事者の状況】*1

区分	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年
理学療法士	42	56.3	84.6	96.7	101.3	118.2
作業療法士	30	39.3	56.3	74.9	86.9	103.7
医療社会事業従事者	29	29.0	45.0	47.9	33.5	28.5
管理栄養士	36	32.0	32.0	37.0	37.8	38.5
栄養士	14	16.0	15.5	11.5	7.3	5.5
診療放射線技師	84	83.0	90.0	92.7	87.8	

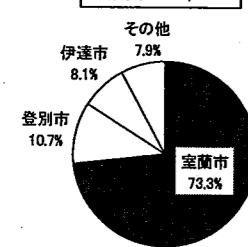
西胆振の受療動向【入院】

西胆振 の状況 (入院)	区分	状況
	区域内自給率(全道)	96.0% (90.0%)
流出先圏域 の構成比	札幌圏	3.2%
	東胆振圏	0.4%
	後志圏	0.1%
	その他	0.3%

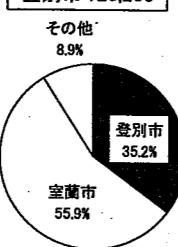


5%以上20%未満
20%以上50%未満
50%以上

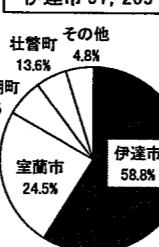
室蘭市 226,366



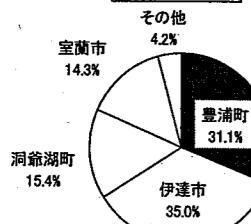
登別市 120,235



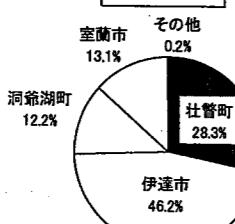
伊達市 91,269



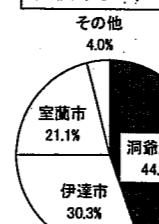
豊浦町 11,033



壯瞥町 7,445

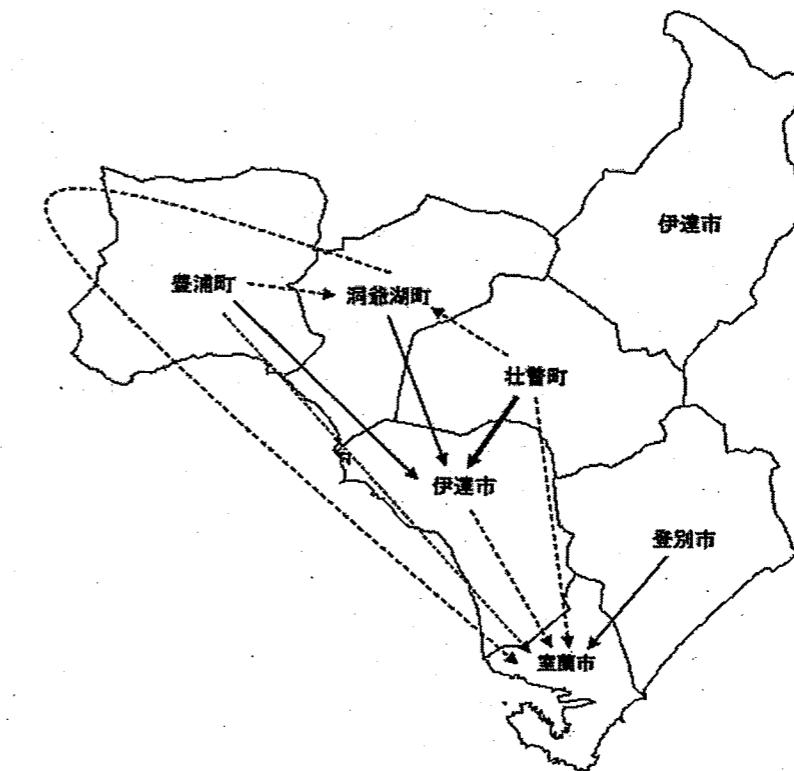


洞爺湖町 27,459



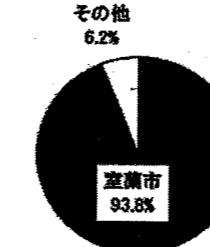
西胆振の受療動向【外来】

西胆振 の状況 (外来)	区分	状況
	区域内自給率(全道)	97.9% (96.1%)
流出先圏域 の構成比	札幌圏	1.5%
	東胆振圏	0.4%
	後志圏	0.1%
	その他	0.1%

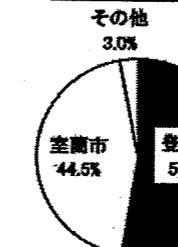


5%以上20%未満
20%以上50%未満
50%以上

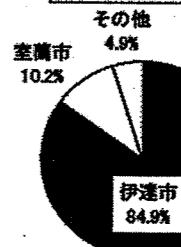
室蘭市 1,712,948



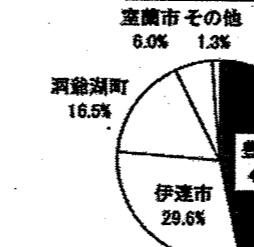
登別市 997,587



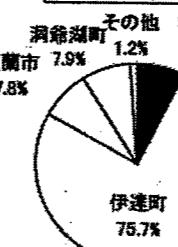
伊達市 741,789



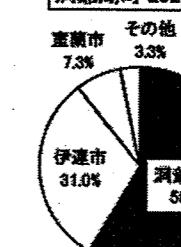
豊浦町 102,632



壯瞥町 59,255



洞爺湖町 232,825



※ 入院患者、外来患者の受療動向:厚生労働省「医療計画作成支援データブック」(平成26年受療動向)

※ 入院患者、外来患者の受療動向:厚生労働省「医療計画作成支援データブック」(平成26年受療動向)